

● 炉辺のご案内

結城会員

本日、社会奉仕・国際奉仕・職業奉仕の炉辺があります。よろしくお願いいたします。

本日のプログラム

地区協議会報告

社会奉仕委員会 次期委員長 中村会員

地区協議会はIT部門に参加しましたので、社会奉仕委員会につきましては資料の概要報告とさせていただきます。

ロータリーの4大奉仕部門の一つということで、ロータリアンが個人として、または他の人と協力して、地元地域・社会の人に対する思いやりや、援助の気持ちを表すような行為をしていこうということが、社会奉仕委員の趣旨です。

社会奉仕は地域に住む人の生活の質を高め、公共のために奉仕をすることは、ロータリアン個人にとっても、またロータリークラブにとっても献身に値することで、社会的義務でもあるとしています。各クラブに対しては、次のことを推奨するとしています。①地域社会における奉仕の必要性の調査・検討②プロジェクト実施にあたっては会員の職業上の能力などを生かす③ささやかであってもあらゆる奉仕活動が重要であると認識した上で地域のニーズをくみ、地域内のクラブの立場などを考慮してプロジェクトを始める④各種社会奉仕活動を秩序だてるために、インターアクトクラブなど、その他のグループと緊密に協力する⑤国際レベルのロータリープログラムと活動を通じて、社会奉仕プロジェクトを強化する機会を確認する⑥プロジェクトの実行にあたっては、望ましく、実現可能な限り、必要な資金・人材の提供を含めて地域社会にも参加を求める⑦目標達成のためにRIの方針に沿って、他団体と協力する⑧プロジェクトが一般社会の人々に認められるようにする⑨活動に於いて、他の団体の共同参加を促進する触媒としての役割を果たす⑩適当であるならば、公共組織、奉仕団体、その他諸団体に継続中のプロジェクトを委譲する、の10点です。

次年度、社会奉仕委員長という大役を仰せつかり、どこまでできるかという不安もありますが、皆様方のご指導をいただきながら頑張りたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。



職業奉仕委員会 北島会員

次期委員長の代打ということで、地区協議会に参加してまいりました。全体会議のあと、各分科会が行われました。各リーダーからロータリーの職業奉仕の理念や歴史的背景、そして倫理、他クラブの取り組みについて話がありました。共通して話の中で出てきたことは、「職業奉仕は難解だ」ということです。そもそも英語を直訳したから矛盾があるという話もあり、「職業」は自分のため、「奉仕」は人のためであり、反対語がくっついているので人が聞いてもよくわからないのではという話が出て、なるほどと思いました。いずれにしても、ロータリアン自身が体験の集積で心を磨き、それを人に伝え、社会に還元して、それに信頼されビジネスも成り立ってくるという話がありました。物品の売買も、売り手は買い手に対して感謝の気持ち、買い手は与えられたことによって満足の気持ちを得られる、その交換の場が愛だという話も出ていました。事例として、横浜グランドホテルのオーナーが毎食そのホテルのレストランで食事をし、その際、お客様全員に感謝の気持ちで握手をしまわったということが紹介されました。

次期委員長はベテランの方なので、難解といわれる